

# 令和7年度 学 校 評 価 報 告

草加市立高砂小学校

(令和8年2月1日作成)

<b>1 学校教育目標</b>	
学校表育目標 あかるく かしこく たくましく めざす学校像 情熱と愛情あふれる学校 高砂小	
<b>2 重点目標・努力目標</b>	<b>3 前年度の成果と課題</b>
<p>基礎的・基本的な知識・技能の習得と自ら学ぶ力の育成を目指す。</p> <p>基本的な生活習慣の育成を目指す。(気持ちの良い挨拶ができる子の育成)</p> <p>学校・家庭・地域との連携の強化を図ることを目指す。</p> <p>◎幼保小中を一貫した教育の推進 *交流活動の推進 *自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む</p> <p>◎校内研修重点教科 算数科</p> <p>●主題:「自ら問題意識を持ち、共に学びあい、主体的に学ぶ児童の育成」～友達の考えにふれ、算数科の楽しさを感じることが出来る授業を目指して</p>	<p>成果</p> <p>○校長のリーダーシップのもと、目指す学校像を全職員で確認することで、共通理解、共通行動のもと、児童を育成することができた。</p> <p>●課題</p> <p>・わかる授業を実践し、自己肯定感、自己有用感・他者理解を育むとともに、学力の向上に努める。</p> <p>凡事徹底、積極的な生徒指導等を行い、不登校児童の減少に向けて取り組む。</p>

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学 校 運 営 に 関 す る も の	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営目標、方針</li> <li>校務分掌組織</li> <li>適所への適材配置</li> <li>職員会議等の運営</li> <li>予算の執行・決算、監査等</li> </ul>	A	<p>○校長が職員会議等、繰り返し伝えることで、全教職員で共通理解・共通行動を図り、自己肯定感、自己有用感・他者理解を育むことができた。</p> <p>●校務支援システムの活用が不十分のため、さらなる活用が必要である。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究組織、計画、実施</li> <li>校内研修の推進</li> <li>授業改善への取組</li> <li>校外研修会への参加</li> <li>人材育成</li> </ul>	A	<p>○外部指導者を4回招聘したり、教職員同士で授業を見合う機会を設けたりすることで、主体的な研修を進めることができた。</p> <p>●校外研修会への参加機会が少ないため積極的な参加を促していく。</p>
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健計画、安全計画</li> <li>環境衛生の管理</li> <li>健康観察、安全点検</li> <li>緊急事態発生時の対応</li> <li>危機管理マニュアルの作成・活用</li> </ul>	A	<p>○複合施設のため、様々な施設や近隣の保育園等と連絡を取りながら年3回の合同避難訓練を実施することができた。</p> <p>●様々な時間等を想定した避難訓練等を増やしていく必要がある。</p>

④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の管理、保護</li> <li>・施設設備の管理と有効利用</li> </ul>	B	<p>○倫理確立委員会や掲示板等を活用しながら、日頃からの危機意識の高揚を図ってきた。</p> <p>●建て替えから15年が経過しており、様々なところに不具合が出ていきいるため、関係課とさらに情報を共有しながら、管理していく必要がある。</p>
⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報の発信</li> <li>・学校公開の実施</li> <li>・学校運営協議会の推進</li> <li>・地域、校種間連携</li> <li>・PTA活動の活性化</li> </ul>	A	<p>○ホームページを各学年で更新しながら、情報を発信したり、多くの地域のイベントに金管バンドクラブを中心に参加したりすることができた。</p> <p>●ホームページの更新頻度を増やす。</p>
⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子ども像の共有</li> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成</li> <li>・一貫教育推進のための組織づくり</li> </ul>	A	<p>○3校の管理職で方向性を確認したり、3校の全教職員で研修会を実施したりしながら、取り組むことができた。</p> <p>●取組を見直ししながら、研修会を実施しする必要がある。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>・教育計画の作成</li> <li>・教育活動の評価</li> <li>・目標、方針の周知</li> <li>・授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<p>○中学校区の研究発表会を実施することで、小中学校の取組を見直し、子どもたちの成長につなげることができた。</p> <p>●教育活動の充実と教職員の働き方改革を同時に進めていく必要がある。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・外部人材の活用</li> </ul>	B	<p>○外部指導者を招いた研修会を4回実施し、授業改善につなげることができた。</p> <p>●各学年外部講師を招きながら、体験的活動の充実を図る必要がある。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の作成</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・道徳実践力の育成</li> <li>・家庭、地域社会との連携</li> <li>・いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<p>○外部指導者を招き授業研究会を行うことで、授業改善につなげることができた。</p> <p>●学年の教員が別のクラスでも授業を行うローテーション授業をさらにを行い、授業の質を高め、道徳教育の充実を図る必要がある。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・各教科、道徳教育との関連</li> <li>・中学校との連携</li> </ul>	A	<p>○外国語専科とALTが連携し、児童が意欲的に授業に取り組むことができた。</p> <p>●ALTと交流給食を実施したが、授業以外でのかかわりを増やす必要がある。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・学級活動、学級経営</li> <li>・学校行事</li> <li>・児童会活動</li> </ul>	B	<p>○学級活動（1）の話合い活動の充実を図るため、必要な掲示物等を作成したり、話合いを他教科でも実施したりするなど、子どもが主体的に活動できるよう取り組んできた。</p> <p>●話合い活動のさらなる充実のため、学年での取組を検討する必要がある。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価の工夫</li> <li>・地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<p>○外部講師を招いて授業を行うなど、学年単位で様々な授業を行うことができた。</p> <p>●外部人材を多く活用しながら、体験的活動を伴う授業を行う必要がある。</p>

⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な生徒指導</li> <li>・問題行動への対処</li> <li>・教育相談、児童理解</li> <li>・いじめ防止対策</li> <li>・保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<p>○生徒指導主任を中心に共通理解を図ったり、解決策を模索したりしながら取り組むことができた。</p> <p>●登校渋りの子どもたちへの対応をこれまで以上に組織的に行っていく必要がある。</p>
⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・中学校との連携</li> <li>・啓発的経験の充実</li> <li>・家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<p>○陸上大会の練習や音楽朝会など中学生が来校し、触れ合う機会を設けることで、中学生への期待をもつことができた。</p> <p>●学年に応じた取組の充実を図る必要がある。</p>
⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画、支援計画</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・通常学級との交流</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・校内支援体制の整備</li> </ul>	B	<p>○教育支援室や特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任と連携を取りながら、取り組んできた。</p> <p>●様々な課題に応じた研修を行う必要がある。</p>
⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画、支援計画の作成</li> <li>・図書館補助員の活用</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・図書館の整備</li> <li>・図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<p>○図書委員会や各学級での取組等により多くの児童が読書に取り組むことができた。</p> <p>●教員の意識を高め、本を読まない児童との二極化解消に取り組む必要がある。</p>
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画の作成</li> <li>・校内研修の充実</li> <li>・ICT機器の積極的な活用</li> <li>・情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<p>○どの学年もタブレット端末を活用して授業を進めることができた。</p> <p>●情報モラル教育を計画的に行っていく必要がある。</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の策定</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・人権感覚の育成</li> <li>・校内研修の充実</li> </ul>	B	<p>○様々な人権課題について、情報提供を行いながら、教職員の意識を高めることができた。</p> <p>●様々な人権課題を意識して教科等で取り組む必要がある。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学校教育目標 あかるく かしこく たくましく の具現化	・指導計画の立案 ・組織的な対応 ・基本的生活習慣の 定着	B	○市の研究委嘱を受け、中学校区で目指す子ども像を確認し、様々な取組を共通で行うことで、授業改善等に努めてきたことで、多くの子どもたちは明るく元気よく生活ができている。 ●登校時にはまだ、元気なあいさつができていないため、引き続き指導していく。
	②開かれた学校 家庭・地域・社会 との連携	・計画の立案 ・環境整備 ・人材の活用	A	○ホームページの定期的な更新や避難所運営訓練、お祭り等で金管バンドクラブが演奏を行うことで、地域とのつながりを大切にし、学校の様子を伝えることができた。 ●地域の人材等を発掘したり、計画的に活用したりしていく。
	③働き方改革を柱とした業務改善	・時間外勤務削減 ・校務の精選 ・環境整備	A	○校務支援システムを積極的に活用することで早期退勤を促してきた。 ●計画的な会議の開催や業務の見直しを随時行いながら、定時退勤できる日を増やしていく必要がある。

### 5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・外部指導を招聘した校内授業研究を3回行ったり、教員同士の授業参観を多く実施したりすることで、様々な意見交流をもち、授業改善につなげることができた。
- ・中学校区で研修に取り組むことで、小中の取組を理解することができ、どのように指導していったらよいか等確認することができた。
- ・毎月の安全点検をもとに、施設設備の安全にも全職員がアンテナを高く保ち、高い危機管理意識をもって教育活動に取り組むことができた。
- ・今年度から校内音楽会を開催することで、子どもたちの頑張りを広く保護者に見ていただき、歌声の響く学校づくりを行うことができた。
- ・

### 6 次年度の改善策

- ・引き続き、凡事徹底、積極的な生徒指導等を行い、不登校児童の減少に向けて取り組む。
  - ・休みを取りやすい雰囲気づくり等、働き方改革を次年度も推進していく。
  - ・令和7年度は校務用パソコンの入れ替えにより、使い方になれるまでに時間が必要であったが、これからは校務支援システムの積極的な活用に向けて、さらなる情報提供を行いながら取り組む。
  - ・豊かな心を育む教育の充実を図り、思いやりのある子を育成していく。
  - ・若手教員をはじめとした人材育成に努め、資質向上を図る。
- (授業力、生徒指導対応、保護者対応、報・連・相の徹底等)